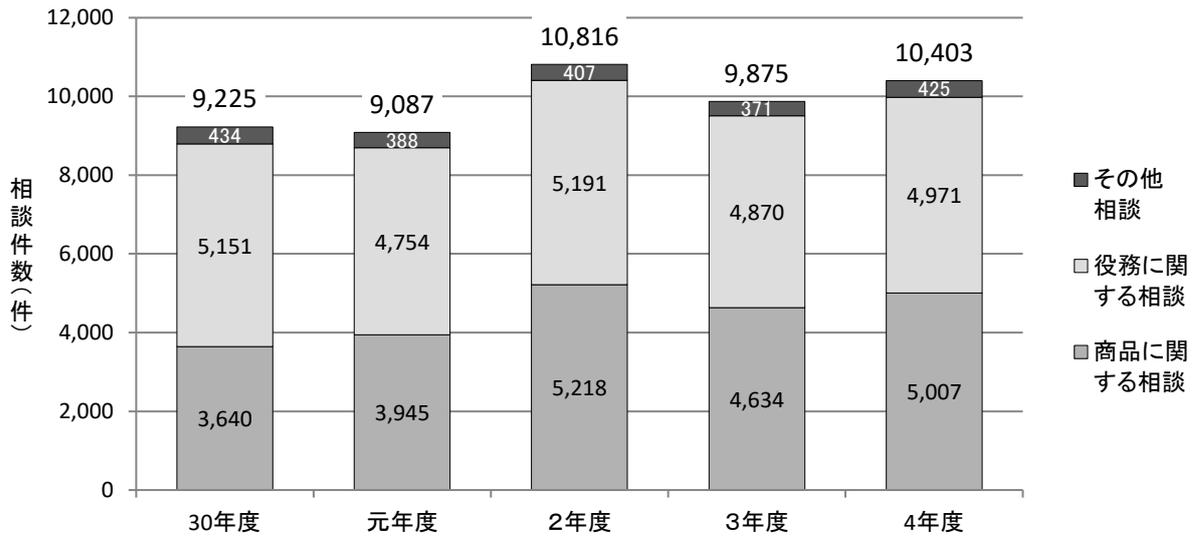
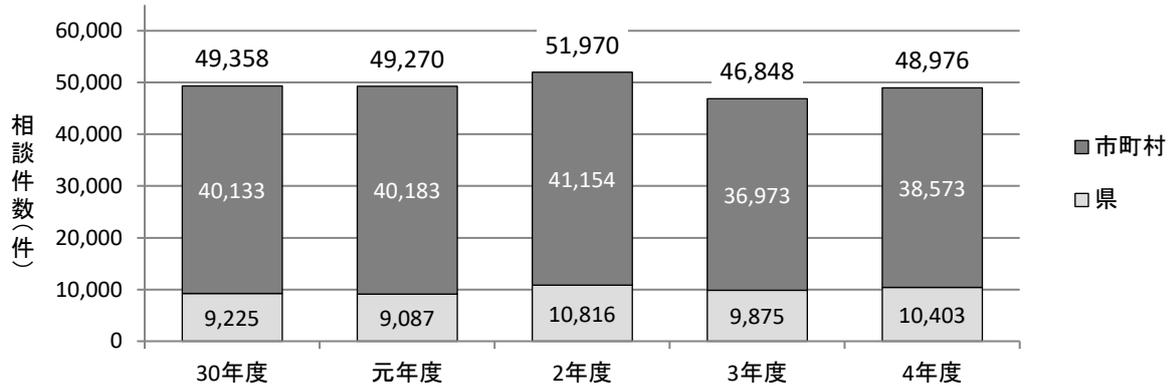


(1) 相談件数等の状況

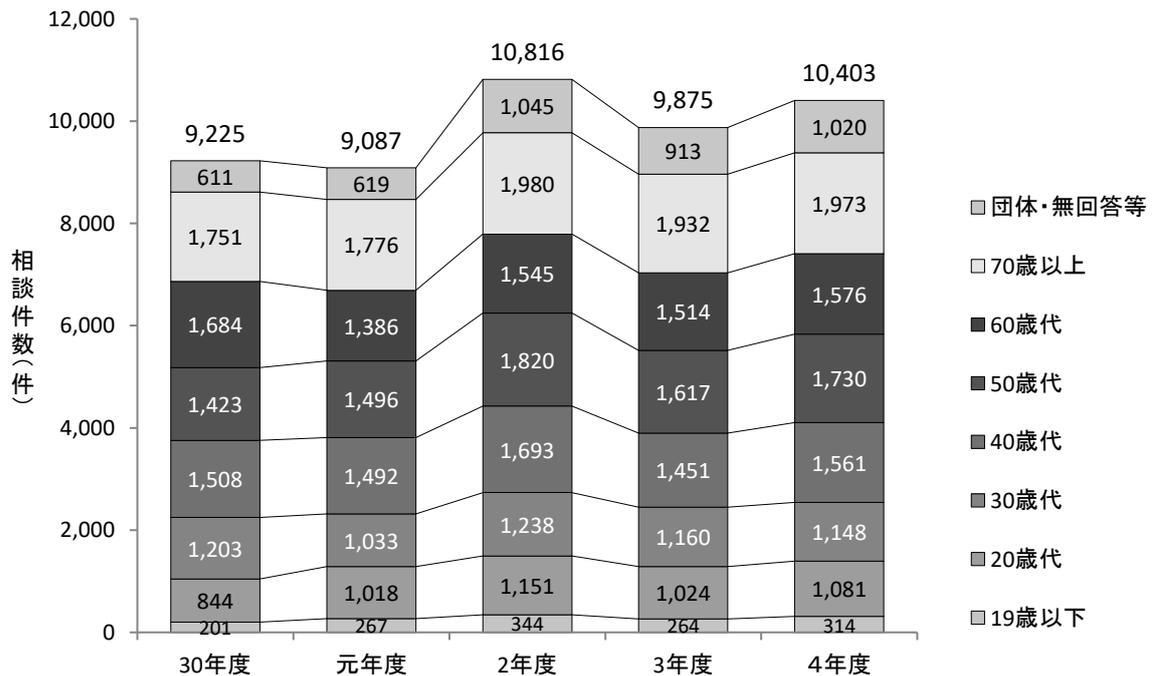
福岡県消費生活センターに寄せられた相談



【参考】県及び市町村に寄せられた相談



(2) ①年代別の相談状況



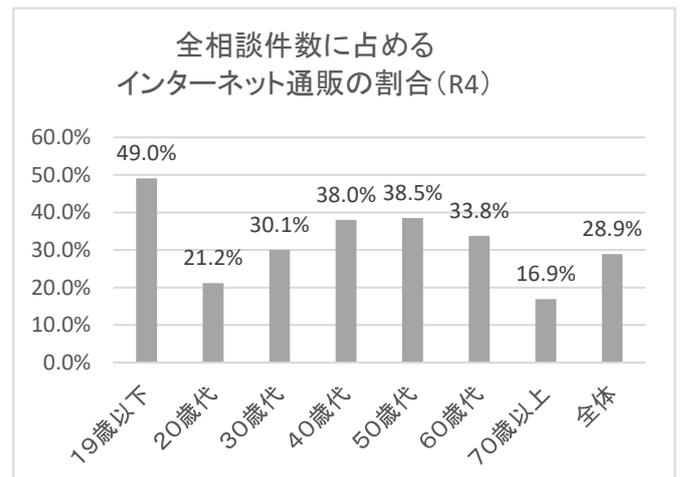
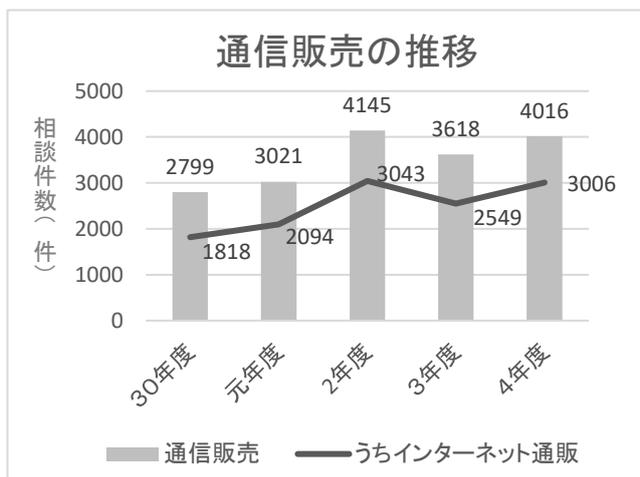
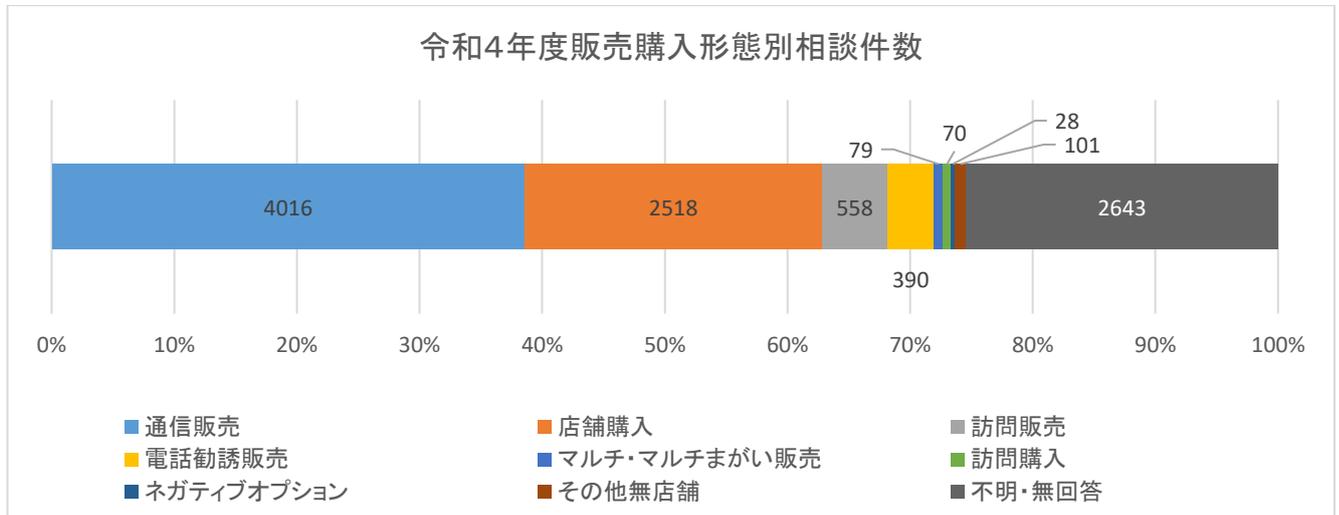
(2) ②年代別の相談状況 契約当事者年代別・商品等分類別の相談件数(令和4年度上位5位)

順位	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	全年代
1	インターネットゲーム 51件 (16.2%)	エステティックサービス 160件 (14.8%)	不動産貸借 139件 (12.1%)	商品一般 108件 (6.9%)	商品一般 154件 (8.9%)	商品一般 155件 (9.8%)	商品一般 215件 (10.9%)	商品一般 908件 (8.7%)
2	エステティックサービス 23件 (7.3%)	不動産貸借 98件 (9.1%)	商品一般 80件 (7.0%)	不動産貸借 106件 (6.8%)	基礎化粧品 110件 (6.4%)	基礎化粧品 114件 (7.2%)	工事・建築 75件 (3.8%)	不動産貸借 587件 (5.6%)
3	健康食品 22件 (7.0%)	商品一般 67件 (6.2%)	エステティックサービス 44件 (3.8%)	基礎化粧品 67件 (4.3%)	不動産貸借 87件 (5.0%)	健康食品 59件 (3.7%)	基礎化粧品 63件 (3.2%)	基礎化粧品 399件 (3.8%)
4	商品一般 18件 (5.7%)	他の内職・副業 56件 (5.2%)	・四輪自動車 ・インターネット接続回線	健康食品 50件 (3.2%)	健康食品 60件 (3.5%)	頭髮用化粧品 56件 (3.6%)	・携帯電話サービス	相談その他 317件 (3.0%)
5	基礎化粧品 11件 (3.5%)	役務その他サービス 33件 (3.1%)	・他の内職・副業 各25件 (2.2%)	相談その他 47件 (3.0%)	相談その他 46件 (2.7%)	他の行政サービス 50件 (3.2%)	・健康食品 各60件 (3.0%)	健康食品 302件 (2.9%)
	314件	1,081件	1,148件	1,561件	1,730件	1,576件	1,973件	10,403件

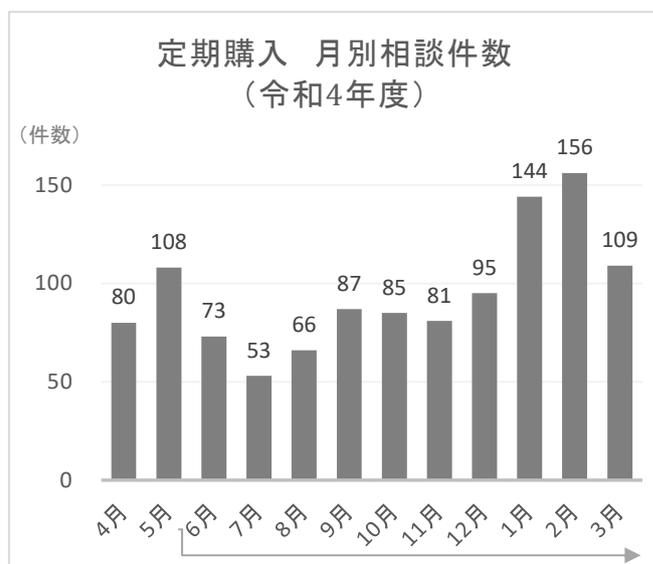
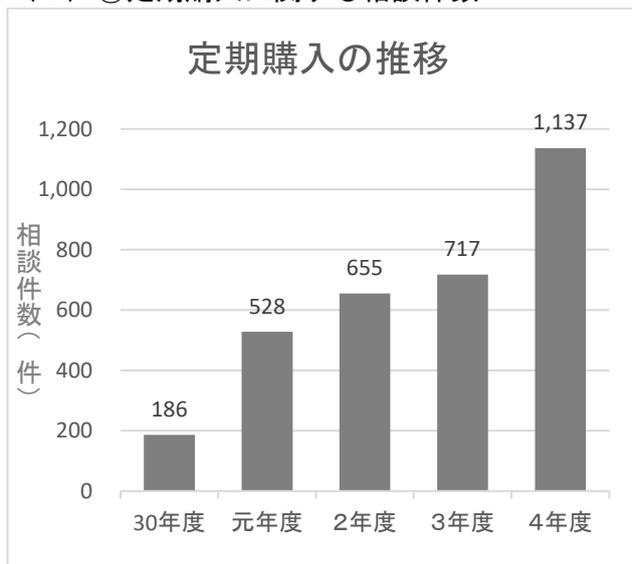
注1) 年齢不明者からの相談があるため、各年代の計と全年代の数値は一致しない。

注2) 最下行は各年代の全相談件数を示す。

(3) ① 販売購入形態別相談件数



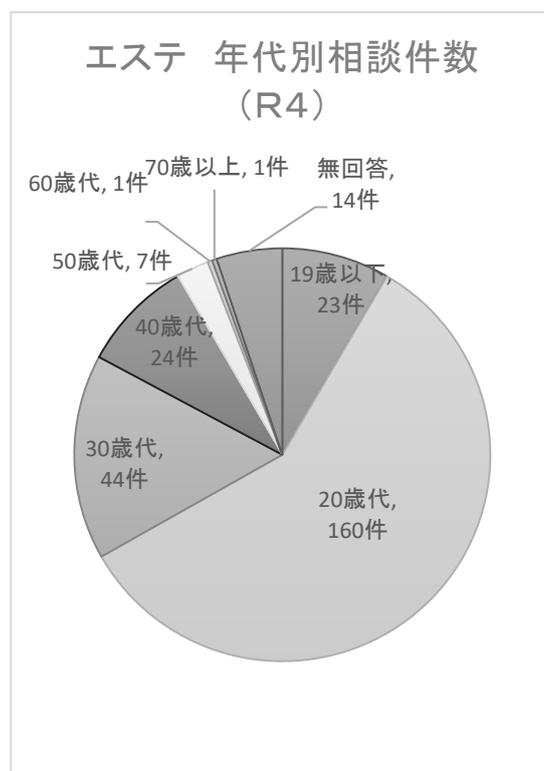
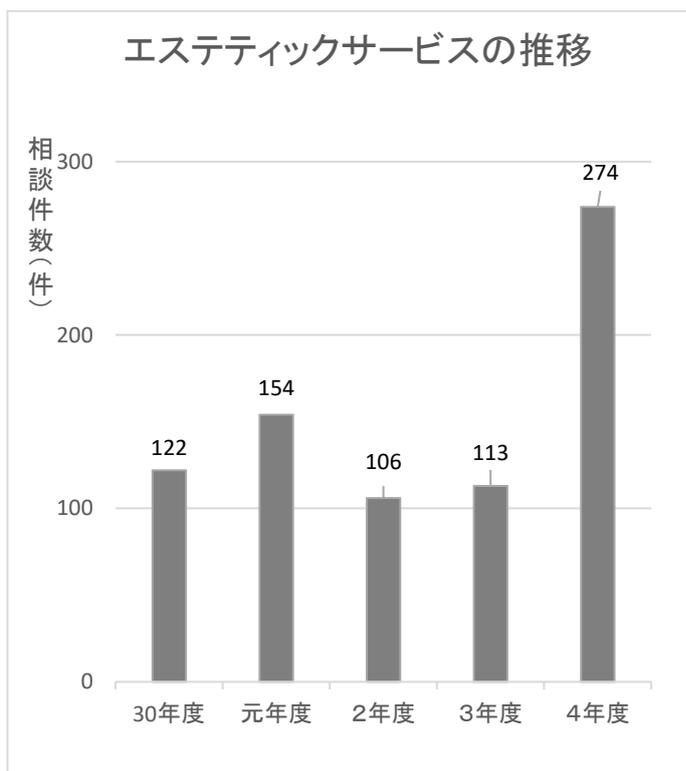
(3) ②定期購入に関する相談件数



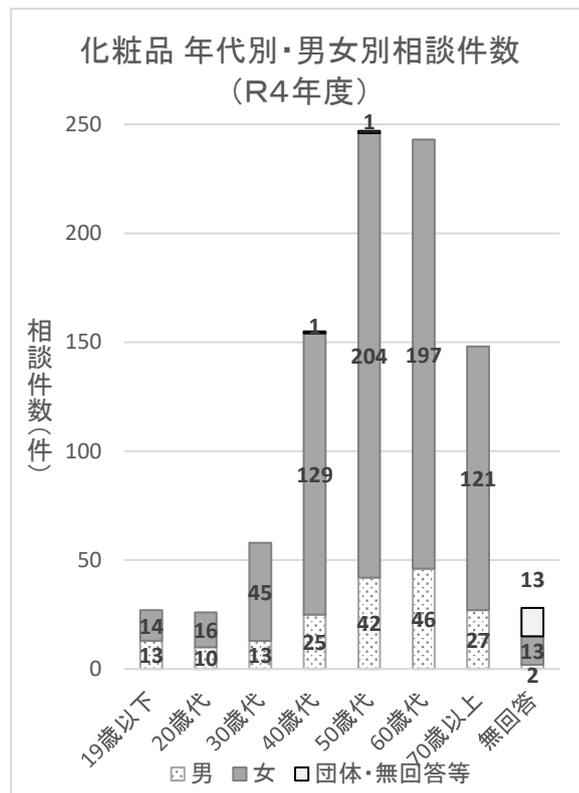
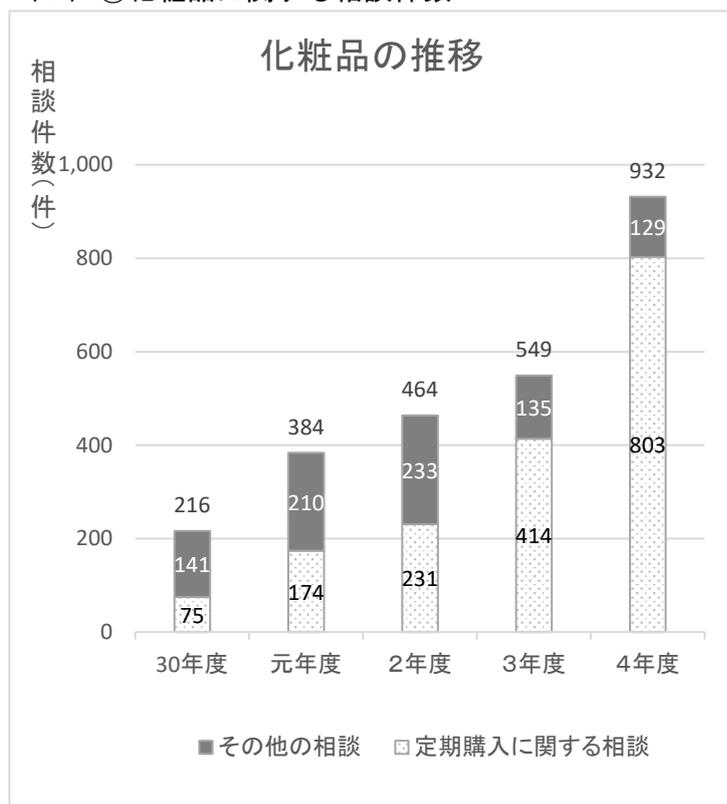
R4. 6. 1～改正特商法施行

※令和2年度までは、国民生活センター作成のプロファイル「お試しのつもりが定期購入に」を用いて算出。
令和3年度以降は、内容等キーワード「定期購入」で抽出している。

(3) ③エステティックサービスに関する相談



(3) ③化粧品に関する相談件数



※第一商品キーワード「化粧品」での検索結果。商品等分類別の「化粧品セット」、「基礎化粧品」、「メイクアップ化粧品」、「頭髪用化粧品」、「他の化粧品」を含む相談。

【用語の説明】

・「商品一般」

商品の相談であることが明確であるが分類を特定できない、又は特定する必要のないもの。
(身に覚えのない架空請求に関する相談などが含まれる。)

・「携帯電話サービス」

携帯電話、スマートフォンへの加入・利用、音声通話のできるSIMカードの契約など。

・「不動産貸借」

土地・家屋等の賃貸借・使用貸借に関する相談。

・「健康食品」

いわゆる健康食品、ダイエット食品、栄養補助食品等であって、別に定める食品（高麗人参茶、酵素食品、プロポリス等）以外のもの。

・「他の行政サービス」

都道府県庁・市町村役場に関する相談、行政の行うアンケート調査等。